



2014 年 3 月期第 3 四半期 決算説明会資料

連結決算の概要

テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 新宅 祐太郎

問合せ先責任者 広報室長 丸田 正行

TEL : 03-6742-8550

E-mail : kouhou_terumo01@terumo.co.jp

URL : <http://www.terumo.co.jp/>

平成 26 年 2 月 4 日

第3四半期決算ハイライト

全社

- 営業利益は業績予想に対して、やや進捗遅れ
- 四半期毎の営業利益率の改善は進む

心臓 血管

- 国内カテーテル事業は好調を維持
- 北米カテ事業は好調、欧州は若干鈍化
- ニューロ領域の新製品は順調に拡大
- 品質システム改善活動は最終段階へ

血液

- 厳しい市場の中で堅調な業績を維持

ホスピ タル

- 新製品の遅れなどが影響し、国内事業が減速



2014/2/4

©Terumo Corporation

1/8

決算概要：増収増益を継続

	13/3期 Q3累計	14/3期 Q3累計	増減率	(億円)
売上高	2,957	3,453	+17%	
粗利益	1,535 (51.9%)	1,787 (51.7%)	+16%	
一般管理費	915 (31.0%)	1,080 (31.2%)	+18%	
開発費	194 (6.5%)	224 (6.5%)	+16%	
営業利益	426 (14.4%)	483 (14.0%)	+13%	
(のれん等償却除く)	525 (17.8%)	604 (17.5%)	+15%	
経常利益	405 (13.7%)	499 (14.5%)	+23%	
純利益	247 (8.4%)	369 (10.7%)	+49%	
EBITDA (営利+償却費)	662	775	+17%	

期中平均レート

US\$ 80円
EUR 102円

99円
132円



2014/2/4

©Terumo Corporation

2/8

売上高と伸長率(Q3累計)

カテーテルは10%伸長、国内ホスピタルは減速

(億円)

事業 セグメント	日本	海外 計					合計
			欧州	米州	中国	アジア	
ホスピタル	956 (-0%)	283 (4%)	87 (-5%)	66 (-0%)	9 (-13%)	121 (15%)	1,239 (1%)
心臓血管	368 (6%)	1,171 (6%)	431 (5%)	477 (7%)	137 (13%)	127 (-1%)	1,539 (6%)
うちカテーテル	284 (9%)	872 (10%)	339 (9%)	305 (11%)	129 (13%)	98 (3%)	1,156 (10%)
血液 システム	97 (2%)	578 (4%)	185 (2%)	277 (4%)	27 (5%)	89 (11%)	675 (4%)
合計	1,421 (2%)	2,032 (5%)	702 (3%)	820 (5%)	173 (10%)	337 (8%)	3,453 (4%)

下段()内は為替影響除く対前年同期伸長率及び前年在宅事業を除く



2014/2/4

©Terumo Corporation

3/8

販管費

一般管理費は売上伸長の範囲内にコントロール
研究開発費は注力分野に継続投入

(億円)

	13/3期 Q3累計 *	14/3期 Q3累計	増減	増減率
一般管理費計	1,057	1,080	+23	+2%
研究開発費	215	224	+9	+4%
販管費合計	1,272	1,304	+32	+3%

* : 為替の影響を除いた換算値

- 米州(カテ・ニューロ)の販売力の強化
- ニューロ新製品、血液システム(治療アフェレーシス・血液自動製剤システム)へ開発費を投下



2014/2/4

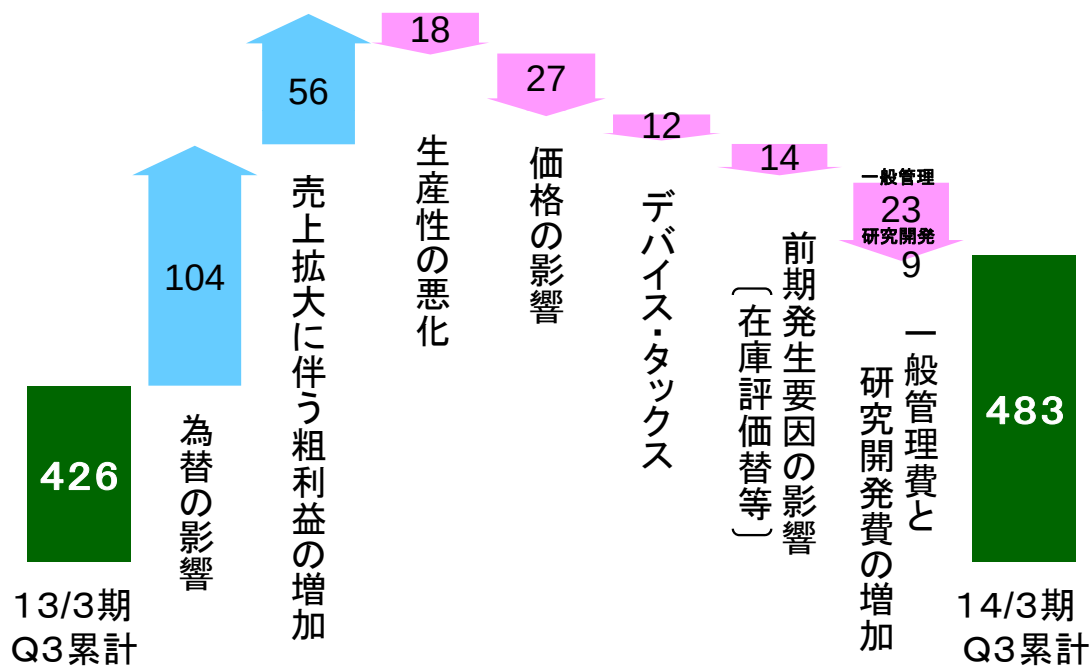
©Terumo Corporation

4/8

営業利益増減分析

売上拡大・費用管理により着実に収益性を改善

(億円)



四半期の動き

収益率を着実に改善

(億円)

	FY12Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY13Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)
売上高	1,039	1,065	1,111	1,149	1,192
粗利益	529 (50.9%)	522 (49.0%)	570 (51.3%)	601 (52.3%)	615 (51.6%)
販管費	385 (37.0%)	416 (39.1%)	437 (39.3%)	430 (37.4%)	437 (36.7%)
営業利益	144 (13.9%)	106 (9.9%)	133 (12.0%)	171 (14.9%)	178 (14.9%)

期中平均	US\$	81円	92円	99円	99円	100円
レート	EUR	105円	122円	129円	131円	137円

粗利益率、販管費率、営業利益率

為替影響を除く収益率を着実に改善

(%)



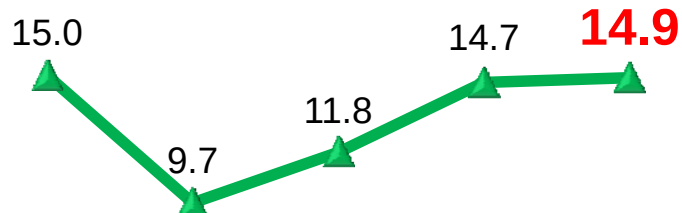
粗利益率

➤ ホスピタルの影響



販管費率

➤ 売上伸長の範囲で
コントロール



営業利益率

➤ 継続的に向上

Q3 FY12 Q4 Q1 FY13 Q2 Q3

(為替の影響を除く、各四半期の3ヶ月単位)



2014/2/4

©Terumo Corporation

7/8

業績予想の進捗状況

営業利益は売上拡大と費用管理により改善を見込む

(億円)

	業績予想	実績	対予想比
売上高	4,600	3,453	75%
営業利益	700 (15.2%)	483 (14.0%)	69%
経常利益	675 (14.7%)	499 (14.5%)	74%
純利益	420 (9.1%)	369 (10.7%)	88%



2014/2/4

©Terumo Corporation

8/8

2014年3月期 第3四半期決算 補足資料

セグメント別売上概況

(単位: 百万円)

% = 前年同期比

	2013年3月期 第3四半期累計			2014年3月期 第3四半期累計					
	国内	海外	合計	国内	%	海外	%	合計	%
ホスピタル医療器類	41,423	18,357	59,781	38,143	-7.9%	22,893	24.7%	61,037	2.1%
医薬品類	41,037	1,536	42,573	41,624	1.4%	3,118	103.0%	44,742	5.1%
DM事業	11,995	1,190	13,186	12,405	3.4%	1,491	25.3%	13,896	5.4%
ヘルスケア事業	3,552	697	4,250	3,459	-2.6%	774	11.0%	4,233	-0.4%
ホスピタル事業	98,010	21,781	119,791	95,632	-2.4%	28,277	29.8%	123,910	3.4%
カテーテルシステム	26,033	63,045	89,078	28,376	9.0%	87,200	38.3%	115,577	29.7%
人工心肺システム他	6,950	18,866	25,817	6,841	-1.6%	22,928	21.5%	29,770	15.3%
人工血管	1,588	5,820	7,408	1,550	-2.4%	6,975	19.9%	8,526	15.1%
心臓血管領域事業	34,572	87,732	122,305	36,769	6.4%	117,104	33.5%	153,873	25.8%
血液システム事業	9,484	44,168	53,652	9,707	2.4%	57,768	30.8%	67,476	25.8%
計	142,067	153,682	295,749	142,110	0.0%	203,150	32.2%	345,260	16.7%

(期中平均為替レート)

(US\$1=¥79.95)
(EUR1=¥102.04)

(US\$1=¥99.36)
(EUR1=¥132.17)

* 中期経営計画の進捗状況を正確に把握することを目的に、一部事業について、製品の売上区分を実態に即した形で見直しました。この変更に伴い、一部売上セグメント区分については、前期に遡って数値を変更・調整しております。

キャッシュ・フロー計算書 (要約)

	2013年3月期 第3四半期累計	2014年3月期 第3四半期累計
営業キャッシュ・フロー	31,994	64,757
投資キャッシュ・フロー	Δ22,046	Δ 37,878
フリーキャッシュ・フロー	9,947	26,879
財務キャッシュ・フロー	Δ17,014	Δ 17,262
現金及び現金同等物の換算差額	2,955	6,836
現金及び現金同等物の増減	Δ4,111	16,453
現金及び現金同等物の期首残高	73,793	75,165
現金及び現金同等物の四半期末残高	69,681	91,618

参考情報

	2013年3月期 第3四半期累計	2014年3月期 第3四半期累計	2014年3月期 見通し
研究開発費	19,365	22,421	30,000
設備投資額	22,251	40,432	50,000
減価償却費	23,611	29,278	37,000
一株当たり四半期(当期)純利益(円)	130.12	194.32	221.20

※テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。